

持続可能なサミット会議

Sustainable Summits Conference Program 2013

持続可能な方法と解決策：自然地域管理者や利用者への教育と実地テストした方法（9月9日）

気候変動の影響など急速に変化する環境において長期的な研究と対策が必要である。具体的には定員制、生態系の管理や自然地域へのアクセス等の問題に対して最善の方法を模索し新しいアイデアを取り入れる必要がある。

計画と問題解決へのアクセス：最初から正しく問題解決出来るのか？（9月10日）

土地所有者、ガイド、先住民等多くの利害関係者が関わる問題をどのように解決するのか。自然地域を長期的に管理するには、まず計画を立ててから複雑なこの問題に取り組む必要がある。成功した計画の事例を再検討し、盲点に注意する必要がある。

利用者のインパクトを軽減：あらゆる種類のゴミをどのように管理するのか（9月11日）

インパクトが高く全世界共通のこの問題には、新しい研究と効果的で持続可能な解決策が必要である。この会議で世界各国から最善の方法と研究を紹介する。

デナリ国立公園祝典：マッキンリー山初登頂 100 周年

Brian Okonek（ブライアン.オコネック）

1896-1913 アラスカ山脈探検初期の歴史とデナリ初登頂

デナリ山岳ガイドとして長年の経験

基調講演者

Peter Metcalf（ピーター.メトカーフ）

傍流から主流へ：北米における登山の変遷

ブラックダイヤモンドの創業者、最高経営責任者

Dowa Steven Sherpa (ダワ.スティーブン.シェルパ)

斬新なアイデアを取り入れてネパール登山道へのインパクトを軽減
著名登山家、ネパール山岳協会自然保護委員会議長

Junko Tabei (田部井淳子)

女性で世界初エベレスト登頂、山岳環境保護団体、日本ヒマラヤン.アドベンチャー.トラスト (HAT-J) を率いる。

Conrad Anker(コンラッド.アンカー)

米国ロッククライマー、登山家、作家、世界的に名高い地球環境保護活動家

計画と問題解決へのアクセス：最初から正しく問題解決できるのか？

Garry Oye(ギャリー.オイ)

山の所有権、管理および責任
米.国立公園局自然保護区管理責任者

Doug Whittaker,PhD(ダグ.ウイテカー博士)

山の使用制限
在アラスカ Confluence Consulting 会社の共同経営者、野外レクリエーションの専門家として自然資源の問題に取り組む。

John All,JD,PhD(ジョン.オール博士、法学士)

山頂にふさわしい科学：自然保護管理者、科学者、登山家等の協力により、ペルーのコルディエラ.ブランカにて科学と自然保護を共存
リモートセンシングの専門家、現在 CSP(アメリカン.クライマー.サイアンス.プログラム)を率いる。

Denali National Park staff(デナリ国立公園職員)

デナリ国立公園.自然保護区管理計画の成功と失敗についての事例
The Sounds of Solitude:見えざるデナリの自然資源

Scott Massey(スコット.マッセイ)

教育及び自然保護のパートナーとしての役割を持つプロの山岳ガイド：米.山岳ガイド協会の努力により、山域にハイレベルで持続可能な基準を定める。

もと山岳ガイド、アウトドア教育者、現在、米.山岳ガイド協会（AMGA）の奉仕活動及び支援運動の指導者。

パネルディスカッション：どのようにしたらうまく行くのか？

市民科学者一山の生態系を守るための貴重で回復可能な自然資源

Linda McMillan(リンダ.マクミラン)

北カリフォルニアの熱心な登山家、IUCN(国際自然保護連合)WCPA(世界保護地域委員会)の副会長、UIAA(国際山岳連盟)の広報、山域生物保全の議長。

利用者のインパクトを軽減：あらゆる種類のゴミをどのように管理するのか

Geoff Hill, PhD(ジョフ.ヒル博士)

自然地域における尿の分流：実績、コスト削減、管理、浸透剤や土壌モニタリング等によりアンモニアの毒性と匂いを防止。

ふさわしくない呼び名、コンポストトイレ：生化学の説明、ミミズコンポストトイレとの比較、管理、モニタリング及び廃棄。

汲み取り式トイレ、分離基準についての事例：飽和土壌中のウイルス伝染による広範囲にわたる健康障害の危険性。

分散型システムの専門家、人間の排泄物に関わる基本的な生化学に精通している。

Dr.Mike Loso(マイク.ロソ博士)

デナリ山のクレバスの割れ目や氷河の中に入った排泄物の分解

アラスカパシフィック大学、地球科学の準教授

Lindgren and Skibo(リンドグレン及びスキボ)

考古学地区 *Sqilantnu* のし尿管理：ロシアンリバーの自然遺産は、アラスカで最大かつ貴重な遺産のひとつ

リンドグレンは *Kenaitze* インディアン部族の長老。スキボはチュガッチ国有林の省庁間管理コーディネーター

Scott Guenther(スコット.グンサー)

グランドティトン国立公園での “バックアウト” (排泄物持ち帰り) の事例：登山家からキャンパーまで

ジェニー湖地区のリーダーレンジャー、登山計画や公園搜索活動の管理。

Roger Robinson(ロジャー.ロビンソン)

デナリ国立公園での清潔な登山の実践と、成功したゴミ持ち帰り計画の事例

デナリ国立公園のレンジャーとして30年以上の経験、CMC (アウトドア用携帯トイレ) の中心的開発者、CMC は現在エベレスト、キリマンジャロ、デナリで使用されている。

Capt. John Leffel(キャプテン.ジョン.レフェル)

健康と安全の効率的な管理：人間の排せつ物、大腸菌およびその他の病原菌についての最新情報

米.公衆衛生局の役員、公衆衛生に関する指導及び専門的知識を提供、米.国立公園局 (NPS) の顧問。

持続可能な方法と解決策：自然地域管理者や利用者への教育と実地テストした方法

Phyllis Fast, PhD(フィリス.ファースト博士)

ウォルター.ハーパー、夢の実現：アラスカ固有の持続可能性

アラスカ大学、人類学および一般教養教育准教授、研究の中心はアラスカ先住民、文学、アート。

Karen Rollins(カレン.ロリンズ)

電気がない山城施設でエネルギー、水、汚水等を管理する為の環境に優しい最善策

非営利団体、BEES(バックカントリー.エネルギー.環境ソリューション) のプロジェクトディレクター。

Nick Lewis(ニック.ルイス)

持ち込んだゴミは持ち帰るー南極最高峰にて環境問題を管理

南極ロジスティック&探検社の代表、地質学者、環境科学者。

Ben Lawhon(ベン.ローホン)

新.LNT(リーブ.ノー.トレース) 山のカリキュラム

山の倫理を教えている非営利組織、LNT の教育指導者。

Jeff Marion, PhD(ジェフ.マリオン博士)

山頂でのレクリエーションがもたらす影響を観察、評価

持続可能な登山道の管理

バージニア工科大学森林資源環境学部、自然資源レクリエーション科非常勤教授。

パネリスト/ポスター発表者

Cindi Squire(センディ.スクワイヤ)

アラスカ避寒者用小屋のトイレプロジェクト：山岳地域にて、ボランティア主導で実践し

た斬新なコンセプトに基づく太陽熱乾燥テスト

持続可能なサミット会議Q&A

アメリカ山岳会とデナリ国立公園が主催する国際会議

いつ？ 2013年9月8日－11日

どこで？ アラスカ州タルキートナー デナリの玄関口

タイミング？

マッキンリー山初登頂から100年、デナリ国立公園100周年記念の年が2013年。記念祝典にて次世紀のために自然保護問題を主導する絶好の機会でもある。

北米最高峰、面積600万エーカー（24,585 km²）の内16%は氷河

野生生物保護の目的で設立した初めての国立公園

“偉大なるもの”（先住民アサバスカ名：デナリ）初登頂 1913年6月7日

公園来場者、年間40万人：デナリ登頂者、年間1,200人

2000年：デナリ国立公園が排泄物持ち帰りシステム（CMC）を率先/アメリカ山岳会が資金提供

なぜこの会議を？

世界規模で、公有地や自然遺産が利用者の増大や環境破壊の問題にさらされている。この会議で、土地管理者、公的機関、科学者、自然保護団体が集結して新しい方策を見出す必要がある。

利点は？

世界規模で公有地を保全する事、実行可能な解決策を提供して公有地を管理する事、活動的な団体を設立して最善策を共有する事、全体的に山の生態系を管理する必要性を伝える事。会議主催者はアウトドア産業の将来を確保している：山が持続的に管理されなければ、彼らの顧客は現在享受しているプレーグラウンドを失ってしまう。

この会議はどのように活用されるのか？

この会議は、実行可能な解決策即ち山や自然地域で実際に使用されている新技術に焦点を合わせている。スピーカー、研究者、会議出席者など総勢150名は、それぞれの能力に基づき選定されているが、彼らが仕事仲間を感化し、最善策を実行し、その結果を数10年或いは数年にわたり共有し合うことができる。

会議の情報（DVD,ビデオはiTuneより、会議内容、文書等はウェブサイト、オンライングループより入手可能）は、主にLNT(リーブ.ノー.トレース)やアメリカ山岳ガイド協会等の機関を通して、ユーザー団体を教育する為に使われる。

AAC（アメリカ山岳会）及びデナリ国立公園は独自のコミュニケーション&教育プログラムを行う。

この会議はどのように公表されているのか？

デナリ国立公園、AAC(アメリカ山岳会)、LNT(リーブ.ノー.トレース)やその他参加機関が各広報活動や通信技術を使う。会議の案内だけでなく会議の結果や報告書を一連の専門家に公表する。オンラインおよびメディアPRは2012年11月より開始している。

どのような人がスピーチするのか？

Garry Oye(ギャリー.オイ)：米.国立公園局自然保護区管理責任者

Dr. John All(ジョン.オール博士)：登山家、サテライトデータ分析の専門家

Dawa Steven Sherpa(ダワ.スティーブン.シェルパ)：エコ.エベレスト遠征隊のリーダー、WWF（世界自然保護基金）インターナショナル会長賞受賞

Junko Tabei(田部井淳子)：女性で世界初エベレスト登頂

Charlie Sassara(チャーリー.ササラ)：登山家、アラスカ人、AAC 会長

どのような人が出席するのか？

各国立公園の管理者および意思決定者、米.農務省林野部、BLM(土地管理局)及び州/地方の公園、NGO 専門家：LNT(リーブ.ノー.トレース)、AMGA(アメリカ山岳ガイド協会)、アパラチアンクラブ、ウィルダネス.ササイアティ。 会議の定員は150名。

資金調達はどうしているのか？

国立公園局/デナリ国立公園およびアメリカ山岳会は、資金を提供し会議が成功するよう全力を傾けている。LNT(リーブ.ノー.トレース)およびその他 NGO は現物支給の形で支援をしている。財団法人は助成金を提供している。講演者やプログラムにあてられる資金を調達する為、えり抜きの企業スポンサーを求めている。

会議のリーダーは？

持続可能な山の会議は、AAC(アメリカ山岳会)のボランティア主導で構成され、第2回目の会議である。2010年の国際会議 EXIT STRATEGIES の成功に基づいて進められている。

同じくリーダーシップをとっているエレン・ラファム（AAC 役員、自然保護委員議長）とロジャー・ロビンソン（デナリ国立公園レンジャー）は重要かつ急増切迫した排泄物管理に取り組むために、土地管理者や専門家など 100 人以上を集めた。持続可能な山の会議 2013 年はデナリ国立公園の協力を得てエレンとロジャーが議長を務める。

運営費

略記

経費	US \$ 85,400
収入	37,000
調達資金	48,400

必要経費

講演者招待(交通費、宿泊費等)	54,400
施設(会議、会場)	3,000
運営費/食事	9,000
オーディオ/視覚、DVD、議事録	8,500
出席者用ペットボトル	1,500
オフィス	4,000
臨時費	5,000
必要経費合計：	85,400

収入

確定寄付金	22,000
参加費	15,000
2012年11月1日現在、収入合計：	37,000

注：

1. 職員、ウェブサイト、助成の形で AAC(アメリカ山岳会)及びデナリ国立公園よりかなりの寄付金を受理している。
2. 会議のリーダーはボランティアである。その他多数のボランティアが会議自体を支援している。
3. 経費に給与は含まれない。
4. 2012年11月1日現在の予算である。